

# 山 中 だ よ り

山中 してもらう  
キャッチ させられる人から  
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第9号

発行 令和2年7月20日 校長 交久瀬 善浩

## ◆◆期末テスト終了しました◆◆

先週、17日（金）で1学期の期末テストが終了しました。今回のテストは、1日に4時間という3年生の実力テストに次ぐハードなものでした。テスト勉強も大変だったと思います。お疲れさまでした。

まずは**1年生の皆さん**、初めての定期テストどうでしたか。ばっちりできたでしょうか。思っていたより簡単だったと思った人もいます。逆に小学校のテストに比べ、量も多いし難しいし大変だったと思った人もいます。今学期は、コロナウィルス感染防止の臨時休校があったために中間テストが無かったのでテスト範囲が広く、例年の1年生に比べると今年の1年生は苦勞したと思います。このあと、夏休みも短いために2学期の中間テストや期末テストも範囲が広くなり、しかも内容も難しくなるので、今回のテストが上手くいった人はこれで安心するのではなく、さらに気を引き締めて学習に取り組みましょう。そして、今回のテストで結果がまずかった人、何がその原因であったのかをきちんと追求し、次のテストで同じ結果にならないようにしっかりと原因を排除し、学習を進めましょう。



次に**2年生の皆さん**、学習内容が難しくなっているため、今回のテストは大変だったと思います。おそらく2学期の中間テストや期末テストも例年よりテスト範囲が広くなり、さらに学習内容も2年生の2学期から急激に難しくなるので、より一層大変になります。今回のテストで芳しくない結果だった人は、ここで踏ん張っておかないと3年生の成績に直接的に響いてきますので、しっかりと間違ったところを復習しなおすとともに、テスト前だけでなく日常的に計画を立てて学習を進める習慣をつけて、3年生に備えられるようにしましょう。3学期には、府のチャレンジテスト（5教科）も控えています。今から真剣に取り組んでいかないと、3年生で強く後悔することになりますよ。

最後に**3年生の皆さん**、3年生のスタートがこのようなものとなり、進路のこともあるし、すごく不安に思っている人も多いと思います。それだけに今回のテストは力を入れた人が多かったのではないのでしょうか。15日（水）の5時間目からテストが始まり、翌16日と17日は4時間ずつのテスト、よく頑張りました。授業を見回っていると、テスト数日前からの3年生の集中力は、かなり高いものでした。みんな真剣な顔をして授業に取り組んでいて、見ていて感動しました。

その真剣さをこの後も継続していければ、必ず進路も明るいものになると思います。臨時休校でしんどい思いをしているのは、府下の中学生みんなです。みんな不安に思っています。だから自分だけが入試に不利になるようなことは絶対にありませんから、今はとにかく自分のできる最大限で授業に家庭学習に取り組んでいくことが重要です。3年生の次のテストは、8月28日（金）の実力テスト1回目です。テスト範囲は1年生の時からのものであります。今年は夏休みも10日しかないため、今から計画的に1年生からの振り返り学習を進めて、テストまでにしっかりと復習できるように頑張りましょう。



## ◆◆7月10日（金）、1年生でもター先生の「Black Lives Matter」の授業を実施しました◆◆

先週に引き続き、ター先生による「Black Lives Matter」の授業を1年生でも実施しました。1年生ということで、ター先生もいろいろ考え、2年生の時よりも英語での説明も使う言葉を限定して、ゆっくりとした発音で話してくれました。また井上先生による日本語の説明も増えたので、わかりやすかったと思います。1年生の生徒もとても熱心にター先生の話を聞き、映像にも見入っていました。（裏面へ）

2年生の記事にも書いたのですが、『ター先生が福岡県に住んでいたときの話しにあった「ター先生の知り合いの白人は日本の警察から外国人登録証の提示を求められたことが一度もないのに、ター先生は何回も外国人登録証の提示を求められた。それで警察署にそのことを申し出ると、それ以降、ター先生は外国人登録証の提示を求められることがなくなった」という話しでした。日本の警察でも同じような差別的な感覚が存在していることを思わせ、考えさせられました。』と書いたのですが、そのあと私もいろいろと調べてみると、ター先生と同じようなことを経験し、嫌な思いをしている黒人の方が結構たくさんいらっしゃるのではないかとこの次のような記事を見つけました。さらに日本人として特に気を付けたいと自分自身も意識なく人種差別している一人なんだと考えさせられる著作物をいくつか見つけたので、その中から1つだけ（それも長いので少しだけ抜き出しで）、以下に掲載しておきます。この内容は、下に紹介した記事「東日本大震災より怖かったこと 日本在住の黒人男性が振り返る過去」の中の一部です。

『日本にも人種差別は存在する。黒人というだけで、在留カードを見せると警察に止められる。しかし、「米国人」という文字を見ると警官の態度は一変する。その度に思う。「もし自分がアメリカ人ではなく、アフリカや南米出身だったら？」。一方で、外見で判断されることは極めて多い。タクシーの乗車拒否や入店できない店、または住めない物件も多くある。ある日、コンビニで強盗があり、犯人が「黒人に見えた」という理由で、偶然近くの公園で友達と話していたマンスさんが警察に疑われたこともあった。』

『白人中心の考え方は世界中に広まっている。特にアジア圏では広告やコマーシャルに白人が使われることが多い。例えば航空会社や化粧品などの企業も白人を起用することによってブランドのイメージをあげようとする傾向がある。肌が白いことを理想とする固定観念が変わらない限り、この現象は続くだろう。そして、それは社会が人種差別に加担しているということだ。』

日本では中国人や韓国人に対する差別もある。日本では中国文化を崇め、中国から取り入れた文化が根強く浸透している半面、日本が支配したアジアの国々を下に見る傾向がいまだに見受けられる。一方、米国では、第二次世界大戦の間、日系人が強制収容所に入れられ、「ジャップ」という蔑称で呼ばれた時代もあった。ハリウッド映画で、白人がアジア人を装い演じることは「イエロー・フェイス」という差別用語で呼ばれた。日本では「ちびくろサンボ」は絶版後に復刊された。ドラゴンボールの「ミスター・ポポ」、または音楽バンドやタレントの「ブラック・フェイス」を問題視する声はほとんど聞かれない。』

『今、世界中の黒人が苦しんでいるということ、自分が半生を過ごした第二の祖国、日本人たちに知って欲しい。私たちはまるで、9.11テロ事件が連続で起きているかのように毎日胸を痛めている。この事実を知らなければ調べて、自分なりに何ができるのかを考えて欲しい。私たちの叫びを無視することだけは決してしないで欲しい。新型コロナよりも致命的なウイルス、それが人種差別なのだから。』

他にも私が見つけた記事で、みなさんにも是非読んでほしい記事のアドレスとタイトルを載せておきますので、是非とも読んでみてください。

<https://globe.asahi.com/article/13492009>

「東日本大震災より怖かったこと 日本在住の黒人男性が振り返る過去」

<https://globe.asahi.com/article/13481862>

「2つの顔、3つの顔を持って生きる 「畏」にはまらないように」

<https://globe.asahi.com/article/13481829>

「愛する息子が「脅威」になる 黒人と結婚した日本人女性が「闇」を知った時」

<https://globe.asahi.com/article/13481765>

「自分が次の「ジョージ・フロイド」になり得る 黒人男性の告白」

<https://globe.asahi.com/article/13495156>

「警察で実感したシステミック・レイシズム 警察官だった黒人男性の決意」

[https://globe.asahi.com/article/12889098?recommend\\_source=outbrain&recommend\\_medium=recommend&recommend\\_campaign=AR\\_9?](https://globe.asahi.com/article/12889098?recommend_source=outbrain&recommend_medium=recommend&recommend_campaign=AR_9?)

「差別を見抜けなかった私 スタンフォード大が教えてくれたこと」アグネス・チャン著